

たたららの残した足跡を訪ねる

たたららの里・吉田村へ

「鉄の歴史村」を掲げる飯石郡吉田村。その吉田村の菅谷地区には、重要有形文化財に指定されている「菅谷たたら（高殿たたら）」があります。菅谷たたらは、江戸時代の後半に大きな勢力をもっていた出雲の鉄山師の一人・田部家が経営するたたららのなかで、もっとも大きなものでした。

当時の菅谷たたらは江戸時代の終りに火事で焼け、現在の建物はそれを再建したものです。天秤ふいごが水車で動くふいごに代わるなど、一部に手を加えられたこと



菅谷集落 (吉田村菅谷)

るもありますが、ほぼ昔のままの姿をとどめています。たたららの周囲の元小屋（事務所）や、そこで働いた人たちの住まいも、ほとんど変わらずに残っています。

一九六九年には、菅谷地区でたたららの復元実験が行われました。たたららの作り方や炭の焼き方まで、途絶えてしまっている伝統的なたたらづくりの技を、科学の眼で分析しようとしたのです。その記録は映画「和鋼風土記」としてまとめられ、吉田村にある鉄の歴史博物館で見ることができます。



高殿
江戸時代末に建てられたものが、そのまま残っている。建物の中は、昔の面影を今によくとどめているが、明治の終りに水車を動力とするふいごに切り替えられた。それまで使われていた天秤ふいごは、そのときに取りはずされて現在は残っていない。

たたらで働く人たちの生活を知る
（山内生活伝承館）



たたらで働く人たちが住んでいた集落を山内と言います。この山内での生活ぶりを紹介するのが山内生活伝承館で、菅谷集落へ下りる坂の上にあります。山内での風俗やたたらで使う道具が展示されています。菅谷たたらの高殿や元小屋の中の見学も、ここで受け付けています。



元小屋
たたららの事務所にあたる。田部家から派遣された番頭が、ここで実質的なたたららの経営を行っていた。菅谷たたらが操業を止めてからも、この集落で炭焼きをして暮らす人たちに、ここから指示を出していた。



金屋子祠
たたららの奥のほうに、広瀬町の金屋子神社から分祠した金屋子祠がある。たたらで働く人たちは、製鉄神である金屋子神を篤く信仰していた。このほかに高殿の後ろの山には山内祠があり、高殿の中にも神棚を作り、金屋子神を祀っている。



桂の木
製鉄の神様である金屋子神は、桂の木に降りてくると言われ、高殿のそばにはたいてい植えられている。江戸時代のたたらを探るときには、目印としてまずこの木を探すという人もいます。



和鋼博物館 (安来市安来町)
鉄の積み出し港として栄えた安来港近くに建ち、和鋼（たたら製鉄で作られた鉄）についての博物館であるとともに、「鉄の道文化圏」の総合ガイドとしての役割ももつ。たたらロボットやハイビジョンによるたたららの紹介などで、たたら製鉄についての知識を楽しみながら得ることができる。若杉たたら（邑智郡瑞穂町）で実際に使われていた本物の天秤ふいごや、古墳時代の横穴墓から見つかった鉄製の刀の復元展示などもある。
(入)一般700円 中・高生500円 小学生300円 (休)水曜

金屋子神話民俗館 (広瀬町西比田)
製鉄の神様として、今でも信仰の篤い金屋子神社のすぐ近くにある。「いのり」を館のテーマとし、金屋子神まつわる神話や伝承、日本と世界の製鉄神がもつ共通点など、神話と伝説に関係ある内容を展示している。
(入)一般・高校500円 小・中生250円 (休)月曜

奥出雲たたらと刀剣館 (横田町横田)
現代では、たたら製鉄といえば日本刀の原料となる玉鋼がすぐ思い浮かぶように、日本刀とたたら製鉄の結びつきは強く深い。この資料館では、月に2回実際に日本刀を作っているところが見学できる。
(入)一般・高校500円 小・中生250円 (休)月曜

凡例

たたら角炉伝承館 (仁多町上阿井)



西洋の近代製鉄に圧され衰退していったたらを、技術改良で持ちこたえようとして開発された、角炉による製鉄法を伝える資料館。実際に使われていた角炉を修復して、当時の技術を公開するとともに、時代に抗しきれず終焉を迎えたたたら製鉄の最終章を紹介する。
(入)無料 (休)なし

鉄の未来科学館 (吉田村吉田)



館のテーマは「未来」。西洋での近代製鉄の歴史や、最新技術によって作られた鉄、そして未来の鉄へ向けてどのような技術開発が行われているのかを知ることができる。すぐ隣には、たたら製鉄工場などの施設もある。
(入)一般・高校500円 小・中生250円 (休)月曜

古代鉄歌謡館 (大東町中湯石)



この館のテーマは「うた」で、ササノオノミコトのオロチ退治など、とくに鉄と関わりの深い神楽を中心に扱っている。いろいろな神楽面の展示や神楽のビデオ上映を行っていて、神楽などの催しに使える舞台も備えている。
(入)一般・高校500円 小中生250円 (休)月曜

そのほかたたらに関する資料館として、鉄の歴史博物館(吉田村)、線原記念館(横田町)、可部屋集館(仁多町)、金城町歴史民俗資料館(金城町)があります。

遺跡としては、砂鉄を採取する「鉄六流」の施設を復元した羽内谷鉱山鉄六流し本場(横田町)があり、製鉄の神様金屋子神が祀られる金屋子神社(広瀬町)では、「鉾」や鉄くすを見ることができます。

ここで紹介した遺跡や資料館を訪ねて、かつて日本一を誇った製鉄の歴史を振り返り、いにしへの職人たちの努力と工夫に思いをはせてみませんか？